

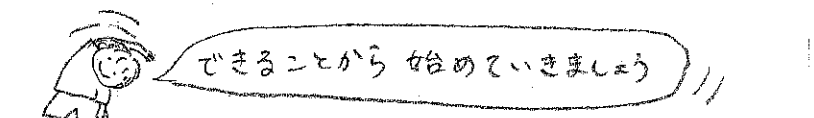
秋から育てていた大根を収穫し、みんなで料理をして食べました。かせ組はクッキングをするのも初めてのことでエプロンと三角巾をつけるだけで大興奮です。友だちとお互いのエプロンを笑顔で見せ合っていました。クッキングは2つのテーブルに分かれて作りました。まずは大根の皮をピーラーでむきます。もう片方の手で大根を押さえてむくのですが、コツがあるので思うようにピーラーが動かず「できな...」と難しそうにしていました。保育者が手を添えて、ピーラーと一緒に動かすと皮がむけて「できた!」と喜んでいました。今回はピーラーも使ってみることが目的だったので、まだまだ色々なことがやりたい子どもたちだったので、保育者と一緒に大根を小さく切ったり、お鍋の中に入れて大根を入れたりしました。「あつから気をつけてね」と声を掛けると、お湯がはねないように、そっと大根を入れようとしていました。最後は大根にかける味噌、みりん、砂糖をスプーンで混ぜるお手伝いもしました。



保育室に大根を炊く良い香りがたんとしてきて、「はやく食べたいな」と待ち遠しそうにしていました。できあがった大根は味噌を少しつけて給食時に食べました。「おいしい♡」「まだまだ食べられるよ」とよく食べていました。自分たちで作ったものをみんなで食べられることが嬉しくて「またやりたい」と話していました。今度は何を作ろうか子どもたちと考えたいと思います。

生活のリズムついてますか?

早寝早起きは大人もそうですが子どもにとっても大切です。寝不足になると大人なら何とか一日乗り切ろうと元気になることができますが、子どもはそうはいけません。午前中ボーッとしたり、遊ばなかったり、給食も食欲がわかなくなったりと大きく影響します。夕方前後はあると思いますが、基本は夜9時~朝7時の睡眠時間が目安です。また寝るのが遅くなっても翌朝は7時までには起きないと、一日のリズムがずれて、再び眠るのが遅くなるという悪循環に陥ります。年末年始の間もできるだけ平日のようなリズムで過ごすよう意識してください。



今年一年ありがとうございました。年明け元気な姿で会えることを楽しみにしています。

かせ・そら・たいようぐみ クラスだより 12月

2021.12.28
日中は晴れていることで暖かく感じることもありますが、日陰になると冷え込み、冬の寒さを感じます。子どもたちも外に出る時は長袖、長ズボンを着用しています。ところが走り出すと、あっという間に身体がポカポカ温かくなり、服を脱いで友だちと走ることを楽しんでいます。冬も元気に過ごせればと思います。



そらぐみ

クリスマスおめでとう
12月はたいよう組の聖誕劇に参加していきようになり、自然物を使ったクリスマスのプレゼント制作や、クリスマスケーキ作り、又クリスマスの絵本等のお話にも楽しんできました。色々な活動を通してクリスマスがどんな日かを知り、楽しみにする気持ちも大きくなってきたと思います。当日は少しドキドキした表情の子どもたちですが、みんなで「えいえいおー!」をして3Fへ入場しました。程良い緊張感の中、いつもより集中して演じるたいよう組の子どもたちを見ていたそら組の子どもたち。宿屋さんの出番では「はー!!」と良い表情で出て行き、今までの一番大きな声、大きなフリでやっていた一人ひとりが自分を発揮して、退場してから、「上手やったー!」と言うと「イェー!」とハイタッチが始まり、「みんなでやっただのしかた」を友だちや保育者と共有できた、ステキな時間でした! 後日、自分のやってみたい役になりしたクリスマスごっこでもとても楽しみ、来年への期待も膨らんでいます。

楽器あそびの
鉄琴、カスタネット、すず、タンバリン、トライアングルであそびました。初めてのことで、たのびますし、持ち方や鳴らし方、約束事を言ってから好きな楽器の所へ行き、触れてみます。キレイな音を出すにはどうしたら良いか試しながら矢張り、丁寧に扱っていました。ドから川原番に鳴らしてみたり、音を出しては友だちと演奏を見合わせ、笑顔になっていた子どもたち。「歌に合わせてみよう」という提案に「やるー!!」とすぐに円になっていました。「おもちゃのチャチャチャ」や「雪だるまのチャチャ」に合わせて、3回、4回と楽器を変えて楽しみました。「チャチャチャ」音を出しますが、なんだか1回目から一体感が... 4子どもたちも音やその重なりを感じているようでした。これはそらぐみの子どもたち、みんなで楽しめよう! と感じたのでこれから何度か経験を重ね、あそび込んでいく中で、1つのことをみんなですることの面白さを味わっていきたいと思います。今年もありがとうございました。来年度もよろしくお願ひします。



たいようぐみ

◎ クリスマス制作
今年、クリスマスツリーも作りました。園外保育で御所にいった時に集めた木の枝や木ひざり、どんぐりなどを活用して作ります。阿婆教室も体験していることや、粘土遊びが子どもたちの中でもブームに上っていたので、粘土を使って植木鉢に見立てた土台を作りました。粘土を1つずつ渡し、その中でどう使うか、色など自由な決め方もありました。平たく広げたり、底の部分を小さくして側面の部分を厚めにつけたり、植木鉢の形も子どもによって様々です。その上に枝を好きなように組み立てていきます。木ひざりでつくるのも、枝が倒れやすいので、両手で支えながらドウラスを考へ、組み立てるのに苦戦する姿もありました。植木鉢に取っ組み立てていきました。糸を巻いてから、糸やどんぐりや木ひざり、和紙やストローをセロテープで飾りつけをしていきます。どんぐりを星型にデコレーションしたり、細い枝の先に雪に見立てて糸をかけた。ここはこれを付けて、「こうしたい」という思いが、材料を選んで作る姿があらわに。手取り足取り、うーん、うーん、と、和紙の上に並べられたクリスマスツリーを見て、「こわい!」「もっとかえるのたのしみ!」と嬉しそうに子どもたちでした。



◎ クリスマス
クリスマス本番の日がやってきました。植園の衣装に着替えている時から、「おしゃべりなぞ!」「ドキドキするぞ!」「めっちゃおもしろいよ」と溢れる思いを伝えてくれています。朝のお集まりではおききさんが「きょうはクリスマスです。みんなが楽しんでできるようにかみさまみまもってください」とお祈りしてくれました。11月初めから色々役を変えて取り組んできたクリスマスごっこ。役を決めるところから、取っ組み立ての色んな場面、子どもたちそれぞれに心の持ちかたがあることと思います。セリフがとんでしまい、焦る気持ちや、緊張からの不安な気持ち、楽しめなかった気持ちなど、その日によって子どもたちの感想や気持ちも様々ですが、回数を重ねるごとに、大きな声でセリフが言えたり、歌詞を正しく歌うことができて、声を合わせておききさんが言えたり、子どもたちの成長が感じられました。本番ではお家の方が見守ってくださる中、とても緊張していましたが、1人1人一生懸命取り組む姿があって、今まで取り組んできたクリスマスごっこの中で一番素晴らしい姿を見て良かったです。年末年始、おききさんと抱き合い、元気づけたことを喜びました。「めっちゃたのびた!」「おうちいとおもしろい!」「おききにええや!」「はードキドキ!」と達成感たっぷり、笑顔が溢れていた子どもたちでした。クリスマスを通して、みんなで協力して1つのことを作りあげる楽しさや、取っ組み立てたことを見てもう嬉しさを感じて、またさらに自信や1人1人の心の成長につながればと思います。おききさん全員参加でクリスマスのお祝いが出来ることを嬉しく思います。温かく見守っていただき、ありがとうございました。

今年も1年間ありがとうございました。来年もよろしくお願ひします。年明け、元気で会えるのを楽しみにしています。